

非小細胞肺がんにおける、年齢層を問わず CONUT 単独よりも優れた予後指標としての術前 C 反応性タンパク質補正 CONUT スコア

1. 研究の対象

2012年1月～2022年12月に高知大学医学部附属病院呼吸器外科で肺がんに対して手術治療を受けられた方。

2. 研究目的・方法

研究目的:

術前の栄養状態が非小細胞肺がん患者の予後に与える影響が注目されている中、従来の栄養指標である CONUT スコアに、炎症マーカーである CRP を加えた C-CONUT スコアを新たに提案し、その予後予測能が年齢層を問わず優れているかどうかを検証することを目的としています。特に、75歳以下の若年層患者において CONUT スコア単独よりも C-CONUT スコアが有用であるかを検討することを目的としています。

研究方法:

原発性非小細胞肺がん(NSCLC)に対して、2012年1月から2022年12月の間に手術を受けた患者さん738例を後ろ向きに解析します。スコアの算出方法:CONUT スコアは、血清アルブミン値、総コレステロール、リンパ球数を用いて算出します。C-CONUT スコアは、上記 CONUT スコアに CRP 値に応じた点数(0～2点)を加算したものを算出します。年齢による3つのコホート(≤79歳、≤75歳、≤65歳)に分類して解析を行います。予後については当院に継続受診されている場合には電子カルテ情報を基に、予後追跡を行います。

研究期間:研究機関の長の実施許可日～2028年3月31日

利用または提供を開始する予定日:2025年11月20日

3. 研究に用いる情報の種類

患者さんは、個人を特定出来ないように匿名化して研究を進めます。手術を行った時の年齢・性別・手術で摘出した腫瘍組織の病理組織診断、免疫染色の結果、病理組織型、腫瘍径、採血データ、再発の有無、術後の生存期間です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられるごとにについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と

しませんので、下記の連絡先までお申出 ください。その場合でも 患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部呼吸器外科学講座 田村昌也

電話番号 088-888-0414

研究責任者：高知大学医学部呼吸器外科学講座 教授 田村昌也

-----以上